

ヴェーダ

V E D A (ヴェーダとは
サンスクリット語で
“癒し”を意味します。)

地域の皆さん向けの広報誌

基本理念

わたしたちは、地域の中核病院として
皆さんの健康を守るために、質の高い医
療を提供し共に歩みます。

基本方針

- 患者さんの人権と権利の尊重
- がん医療、救急医療、生活習慣病を中心とした医療の推進
- 地域の医療保健機関、介護福祉施設との連携強化並びに地域完結型医療の確立
- 職員の働きやすい職場づくり

防災訓練を実施しました

平成29年11月18日(土)に、「休日の朝8時30分に大規模な地震が発生した。」との設定で院内全職員を対象とした防災訓練を実施しました。

今年は、休日の少ないスタッフで初期段階をどう対応するか。参集してくる職員をどう効率よく配置できるかをテーマに実施しました。また、災害時の合言葉であるCSCATTT*を少しでも理解してもらうために今回初めて事前に2回の机上訓練を行いました。この机上訓練はエマルゴ™と呼ばれ、様々な設定のもと、患者カードやスタッフ人形を使い災害医療をシミュレーションして研修するもので、2回の事前研修に約100名の職員が参加しました。

当日の防災訓練では、事前の机上訓練の効果で患者をスムーズに移動することができ、その他にも情報伝達の問題やライフライン、総合案内の運営方法など医療以外の問題も改めて認識できました。本院は南加賀医療圏の唯一の災害拠点病院として、今後も訓練を重ね、万が一の災害に備えてまいります。

今年も寒い中患者役を引き受けていただいたこまつ看護学校の生徒の皆さん、ありがとうございました。

- * C; 指揮命令系統の確立
S; 安全確保
C; 情報伝達
A; 評価
T; トリアージ
T; 治療
T; 搬送



本部運営(スタッフ配置)



本部運営(災害状況の把握)



トリアージポスト

(負傷者を傷病の緊急度・重傷度に応じて治療の優先順位を決める場所)



診療エリアの様子

H.30
1/18 THU.

平成29年度 緩和医療懇話会を開催しました

- ◆開催日 平成30年1月18日(木) 19:00～20:30
- ◆場 所 小松市民病院 南館4階研修室
- ◆テーマ 「がん患者さんが在宅で安心して生活できるために
～PCAポンプを使用して～」
- ◆講 師 やまと@ホームクリニック 院長 大和 太郎 先生
緩和ケア認定看護師 寺田 祐里 先生
小松能美薬剤師会 小松会営薬局 薬剤師 筒井 伸幸 先生



村上院長からご挨拶

やまと@ホームクリニックでは「大切なものを守るという大切さ」をコンセプトに在宅医療に力を入れ、2016年は約80名の患者さんを在宅で看取られました。

大和先生からは、がん患者さんは体調悪化から看取りまでの期間が短く、自宅退院の希望を叶えるには急激な症状悪化に速やかに対応することが重要。また患者さん、家族の不安を最小限にし、退院したいとの希望を叶えるには症状緩和が必須であるとのお話がありました。

苦痛症状に速やかに対処するためには注射剤が有効であり、またPCA（自己調整鎮痛法）機能付ポンプは、患者さん、家族が痛み迅速に対応できるため、苦痛緩和に最適なツールの一つであり、PCAポンプを使用した患者さんは在宅での看取り率が高いとのご報告がありました。





(大和太郎先生)



(寺田祐里先生)



(筒井伸幸先生)

緩和ケア認定看護師の寺田先生からは、PCAポンプを使用した患者さんの自宅退院に必要な準備や在宅での体制構築について、事例を交えてお話がありました。患者さんは痛みのコントロールができなくなることへの不安から、家族は安楽に過ごさせてあげたいとの思いから入院を考えます。しかしながら、自宅でPCAポンプを押せば痛みが取れるということがわかれば、自宅での療養を継続できる場合があるとのお話がありました。

最後に、小松能美薬剤師会小松会営薬局の筒井先生から、小松能美薬剤師会における在宅PCAポンプの今後のビジョンのお話がありました。小松能美薬剤師会では既に2台のPCAポンプを用意し、貸出しの準備を進めていること。病院から在宅PCAポンプの依頼があれば、対応可能な調剤薬局のマッチング業務を行うこと。調剤薬局に対して無菌調剤や在宅同行などのサポート体制を備えているとのご説明がありました。今後、在宅PCAポンプの利用を推進していくためにとても心強いお話でした。

参加いただいた方からもたくさんの質問や意見をいただきました。当院の村上院長からは「小松方式の在宅緩和ケアの体制作りを進めてまいりたい。」との言葉があり、この講演会がきっかけに多職種、多団体の皆さんと在宅緩和ケアの推進について協議、連携を深めてまいりたいと思いました。



精神科認定看護師からのミニトピックス

みなさんこんにちは。精神科認定看護師の北 由希です。
今回は、リエゾン活動について少しお話しします。

リエゾン回診

主に毎週火曜日・水曜日に精神科医、作業療法士、認定看護師のチームが、本院に入院している患者さんで、病気により気分が落ち込んでしまって本来の治療がうまく受けられない患者さんや、認知症があり入院により混乱し、十分に治療が進まない患者さん。もともと精神疾患があり体調を崩された患者さんなどを訪問し、心のケアを行っています。緊急にケアが必要な患者さんは、火曜日・水曜日に限らず病棟を訪問しています。

リエゾンカンファレンス

毎週金曜日にリエゾンチームで、その週に回診した患者さんの回診評価と今後のサポートについて検討を行っています。

必要があれば、サブメンバーの精神科薬剤師や精神保健福祉士、主治医や病棟の看護師などケアに関わるメンバーに集まっていただき、治療の進め方などを検討しています。

こころの病気は脳の病気

精神科に実習に来た看護学生に、「こころってどこにあると思う?」と尋ねると胸を押さえる学生が多い中、頭を押さえる学生もいます。

そうなんです、実はこころという臓器はなく、こころの病気は、脳の病気でもあるのです。だから、治療は脳の神経伝達物質に働きかける薬物療法が大切になります。

しかしながら、人は感情の生き物。薬だけでよくなることは難しく、そこには心理療法も含めた人と人とが関わる、温かい環境が大切なのです。

リエゾンチームのアイドルが誕生しました。

メンタルサポートと深海に住むメンダコをかけて、

「めんたぼ」ちゃんです。

市民病院のなかを深海魚のようにゆる〜く、でも縁の下の力持ちのようにサポートしていきたいとの願いから、患者さんと一緒に考えました。

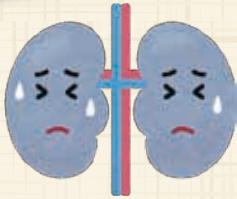
かわいがって
くださいね。

めんたぼ♥





透析看護認定看護師からのミニトピックス



ご存知ですか？ 慢性腎臓病



糖尿病、高血圧などの生活習慣病が原因で発症することが多い病気です。患者さんは全国で1,330万人(20歳以上の成人の8人に1人)いると考えられており、新たな国民病ともいわれています。

初期には自覚症状がほとんどありません。それが、慢性腎臓病(CKD)の怖いところで、気が付いた時にはもとの元気な腎臓に戻れないこともあります。

また、慢性腎臓病になると脳卒中や心筋梗塞になる危険性が高まるといわれています。さらに、慢性腎臓病が進行し末期腎不全となると、体内の老廃物を尿から排泄できなくなり透析や腎移植が必要になります。



慢性腎臓病を早く見つけるには？

定期的に健康診断を受け、尿(蛋白尿・血尿)や血液(クレアチニン)、血圧の検査を受けることが大切です。検査で異常が見つかったら、放置せずに必ず医療機関を受診してください。

最近、笑っていますか？ 子供は1日400回程度笑いますが、大人になると1日15回程度に減り、中には1日に1回も笑わない人もいわれています。笑いには「免疫力が上がる」「血糖値が下がる」「よく眠れる」「痛みが和らぐ」「NK細胞※が増える」など、多くの効果があるといわれています。笑わないなんてもったいないですよ。

※NK細胞:免疫細胞の1種です。

笑いの処方箋 
1日5回笑って1日5回感動しよう!

透析看護認定看護師 兼 笑いヨガリーダー 向出 美穂

粟津診療所で 第8回 地域の皆さんとのつどいを 開催しました

開催日：H29/12/14(木)
14:00～15:30
場 所：南部いきいきオアシス内
いきいきセミナールーム

当院の川端薬剤師による「糖尿病の薬を知ろう!」と題した、治療の三本柱の一つである薬物療法全般にわたってのお話には、血糖値をコントロールして合併症を防ぐことの大切さを確認しました。



川端薬剤師



スーさんの紙芝居

スーさんこと、前川スミさんの紙芝居に感動し、オカリナとハーモニカ演奏で合唱しました。



オカリナ&ハーモニカ演奏



栄養だより



小松食材の日

当院では毎月小松で獲れた食材を使用した小松食材の日を設け、地産地消に力を入れています。

今回はこれまでの小松食材の日で人気があったメニューの一つをご紹介します。小松産のキャベツを使用した、ロールキャベツのクリーム煮です。野菜もたくさんとれて、食べ応えもありおすすめです。

《ロールキャベツのクリーム煮》

材料
(1人分)

キャベツ	100g	コショウ	0.05g
玉ねぎ	30g	卵	5g
サラダ油	1g	クリームシチュー	7g
合挽肉	60g	ベーコン	10g
パン粉	5g	サラダ油	5g
塩	0.5g		



- ① キャベツは1枚ずつはがし、軽くゆでる。
- ② 玉ねぎはみじん切りにし、油で炒め、合挽肉・パン粉・塩・コショウ・溶き卵を混ぜ、俵型に丸める。
- ③ ②を①で包む。
- ④ ベーコンは7mm角に切り、鍋に油を敷き、炒める。
- ⑤ ④に水を入れ、沸騰したらクリームシチューの素を入れて溶かし、その中に③を入れて弱火で煮込む。
- ⑥ 付け合わせの人参・じゃがいもは乱切りにし茹でておき、盛り付けに飾る。



アイソカルサポートのご紹介

当院では様々な経管栄養剤を必要に応じて採用し、患者さんの1日も早い回復に努めております。今回はアイソカルサポートについてご紹介します。アイソカルサポートは半消化態栄養剤なので、ある程度の消化機能が必要となりますが、**少量高エネルギー**

(1.5kcal/ml) で投与時間を短縮でき、胃のボリュームの小さい方にもおすすめです。3大栄養素エネルギー比はたんぱく質15%、脂質41%、炭水化物44%で構成され、炭水化物が少なめなので、血糖のコントロールも期待できます。食物繊維は水溶性食物繊維のグアーガム分解物(PHGG)を配合してあり、腸内フローラを改善し、下痢や便秘のどちらにも対応し、便性を正常化することが注目されています。





topics
トピック

緩和ケアチームによる クリスマスハンドベルコンサートを開催しました



毎年12月には院内のあちこちクリスマスの催しが開催されます。
12月22日(金)には緩和ケアチームが、トナカイ、サンタクロースに扮して、
外来から、病棟までを駆け巡り、ハンドベル、声楽によるクリスマスソングを
プレゼントして回りました。
素敵なメロディーに癒されたひとときでした。

topics
トピック

ボランティアの皆さんありがとうございます

日頃、本院でボランティア活動をしていただいている
3つのグループの方々に感謝状をお贈りしました。



ふれあい文庫
小松能美メンボラ友の会
緩和ケア病棟ボランティアおひさま
いつもありがとうございます。



編・集・後・記

今年の冬は寒波の到来が何度もあり、雪すかしに苦
労しました。1日の中で何度も雪すかしのために汗をか
きました。翌日には腕が筋肉痛になり日々の運動不足を
痛感しています。また、一年に数回しか履かない長靴を
履き雪道を歩いて通勤しました。子供の頃に毎日雪道を
通学していたことを懐かしく思い出されました。(澤田)



国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp